厄払い会を終えて

厄払い会実行委員長　木村 健一郎（高46回）

去る一月二十七日（土）、平成三十年厄払い会が開催されました。寒さ厳しいものの好天に恵まれ、男性後厄高校47回生四名、本厄高校48回生三名、前厄高校49回生一名、女性後厄高校56回生四名、本厄高校57回生一名、前厄高校58回生十二名、合計二十五名の方々が参加され、厄払い神事は櫛田神社にて滞りなく執り行われました。

神事終了後には、井上校長先生をはじめ福岡高校教職員の皆様、藤会長をはじめ同窓会及び紅梅会役員の皆様、還暦を迎えられた高校29回生八名、年男の高校41回生一名、神事を終えられた十八名、合わせて四十七名の皆様が大阪屋に集い、直会を盛大に開催させていただくことが出来ました。来賓の方々にご挨拶を賜り、還暦ならびに年男年女、厄払いを終えた各学年の紹介ならびに挨拶をいただき、続いて行われた恒例の男性前厄学年のパフォーマンスに会場は大変盛り上がりました。ご歓談の後、還暦を迎えられた29回生八名と年男の41回生一名の先輩方には袴と袴を着て頂き、豆まきを行って頂きました。豆をまかれている時の先輩方の笑顔と大きな声が素敵でした。たくさんの福を分けて頂き、ありがとうございました。

不慣れな点も多く至らない点もあったかと思いますが、皆様に楽しい時間を過ごして頂けていれば幸いです。ご協力頂きました櫛田神社様・大阪屋様、お力添え頂きました先輩方、参加頂きました皆様に、改めて深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

私ども46回生は、八年前の同窓会総会に始まり、紅梅会総会、ゴルフ会、厄払い会と幹事をさせて頂きました。その中で多くの先輩に出会いご助力を頂き、同級生同士助け合い絆を深める事ができ、改めて福高生でよかったと心より実感しております。そして、昨年百周年を迎え新たな歴史を刻む母校に、微力ながら恩返しができればと思っております。

還暦29回生集合写真

神事

豆まき集合写真

「福・福テニス会」へのお誘い

平成元年から年二回（四月・十一月）開催しています。当日は抽選によりダブルスペアを作り、リーグ戦～決勝トーナメントの試合を楽しんでいます。主として、東区の青葉公園のテニスコートを利用しています。福高卒業生、教職員とそのお友達等幅広く呼びかけています。

次回は十一月中旬を予定しています。初心者大歓迎です。

連絡先
【事務局】中山善三郎（高24回）
（携　帯）090-4998-2736
（M・A）love.earth@jcom.home.ne.jp

高18回生は応援しています！

訂正とお詫び……

朝ぼらけ第百十二号で「ふところ会米寿同窓会」の記事のタイトルを「中20回米寿同窓会」と間違えて表記してしまいました。訂正してお詫び申し上げます。卒寿同窓会の時は決して間違えません。誠に申し訳ありませんでした。

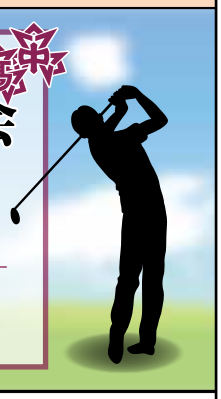
平成30年度 福中・福高同窓会

高校54回生がお世話させていただきます。

会期｜平成30年 6月10日（日）
◎受付10:30～ ◎総会11:00～ ◎懇親会12:00～
会場｜福岡国際会議場 福岡市博多区石城町2-1（福岡サンパレス横）
当日 7,000円／前払 6,000円　高64回以降 3,000円　福中・福高卒以外の同伴者無料

平成30年度 福中・福高ゴルフ会

9月21日（金）
福岡カンツリー倶楽部
実行委員長　田中良和（高49回）
連絡先　090-4772-4413



関西福中・福高同窓会

会長	岡部和也（高28）	顧問	合屋嘉人（中20）
副会長	井上啓子（高22）	〃	小山富夫（高4）
〃	伊達貞夫（高22）	〃	友松宣昭（高13）
〃	中野義信（高24）	〃	山本良雄（高22）
幹事長	澤　和彦（高24）		

〒562-0004 大阪府箕面市牧落5-8-1-406
Tel・Fax 072-722-6486

東京福中・福高同窓会

会長　島田隆士（高12）

副会長	黒永哲至（高26）	会計	山田健二（高27）
〃	長富茂（高30）	監事	松浦浩久（高26）
〃	木下直人（高34）	〃	築地英子（高30）
〃	新谷康之（高35）	事務局長	金城琢磨（高46）
〃	岩瀬智子（高39）		

事務局/〒102-0072　東京都千代田区飯田橋1丁目3番2号　曙杉館4階
事務局長/金城 琢磨(高46) TEL/03-3556-9161　FAX/03-3263-3600

朝ぼらけ

校訓
至誠励業
剛健成風
操守堅固

発行者
福中・福高同窓会
朝ぼらけ編集委員会
発行責任者　平木俊敬（高19回）
〒812-0043 福岡市博多区堅粕1-29-1 ☎092－641－7258

福中・福高 新世紀

福中・福高同窓会 会長　藤 和義

平成二十九年度は、我が同窓会にとって誠に大きな記念の年でした。

歴史の節目となる「福中・福高創立百周年記念式典」が挙行され、あわせて一連の記念諸行事も滞りなくおこなわれました。

また、百周年記念事業にかかる募金活動は、各学年の常任幹事、募金推進委員の皆様に大変なご苦労をおかけしましたが、本年二月二十三日、「第六回募金推進委員会」を開き、最終報告をして活動を終了いたしました。全国の同窓の皆々様のご支援ご協力のお陰で当初目標を大きく上回りましたこと、改めて厚く御礼申し上げます

今年、平成三十年、福岡高校は新たな百年の歩みを始めました。去る四月九日、平成三十年度の入学式がおこなわれ、同窓会役員も多数出席して、「百一年目」の新入生の門出を祝いました。

私から見れば完全に孫の世代で、「嗚呼、この生徒たちが活躍する時代がやってくる時まで……」と、複雑な思いもありましたが、新しい同窓生が毎年誕生し、同窓会の活動がきちんと引き継がれていくことに、歴史の重みを感じとても嬉しく思いました。

来る六月には、中村哲氏（高17）、外尾悦郎氏（高25）、江口カン氏（高38）の三氏による「パネルディスカッション」、九月には「記念講堂」の建設着工と、記念事業計画は新宮松比古前会長が心血を注いで敷かれたレールの上を順調に進んでいますが、一点、気にかかることがあります。それは「福岡県指定有形文化財」となった校舎の大規模改修工事のなりゆきです。

文化財補修工事は原型・原色に復することを基本としますので、補修の必要がない箇所はそのまま残します。結果として、補修箇所と旧来の壁面がちぐはぐな斑模様となりました。新装コンクリートの「経年変色」によりすべての壁面色は調和する見込みでしたが、補修部分は二年間経った今に至るもほとんど変色せず「斑模様」のままです。最近では、もともと福高の校舎はこんなデザインだったのだと思えてきました。かえって味があるなあとも思います。外部の方々から「福高は面白い工事ばさっしゃったですなあ」とからかわれることもありますが、これも「指定文化財校舎」なればこその悩みで、歴史と伝統の校舎でなかったら、きれいに塗装をし直せばすむことだったのです。万が一校舎がこのままの「模様壁」で残ったとしても、昭和二年の大火災のあと、「フェニックス」の伝統が芽生えたように、新しい「伝説」が生まれるのかも知れません。期待して経過を見守りたいと思います。

新世紀の福岡高校、今後さまざまな取り組みを通して、同窓の絆がますます深く強いものになっていくことを願ってやみません。

平成30年度 人事異動について

1 管理職

退職
- 校長　井上拓夫

転出
- 校長　花田亮二　高31回（博多青松）

昇任
- 副校長　高之口勝幸　高33回

転入
- 校長　合屋伸一　高32回（光陵）
- 教頭　安武良和　（新宮）

2 一般・事務室

昇任
- 指導教諭　豊岡恭子
- 主任主事　坂梨幸乃

再任用
- 数学　青柳秀行　高27回
- 理科（物理）　森輝治　高26回
- 保健体育　木村恒昭

退職
- 国語　那須三元
- 理科（物理）　澤本純一
- 保健体育　進藤弘
- 芸術（音楽）　井上宏之
- 外国語　永末温子
- 実習助手　小堀美保代

転入・新採
- 国語　田中誠司　（城南）
- 理科（物理）　松本健史　高56回（東筑）
- 保健体育　大江秀和　（新規採用）
- 外国語　清水浩子　高33回（須恵）

3 講師等

転出
- 地歴公民　渡部晃久　（早良）新採
- 理科（化学）　前賢生　（小倉）
- EAS　アンドリュー・メイベリー

新規
- 外国語　森山英治　高23回（常勤講師）
- 数学・情報　城下和彬　（常勤講師）
- 養護助教諭　原田えりか　（常勤講師）
- 実習助手　前田恵美子　（期限付）
- 地歴公民　金子修平　（非常勤14H）
- 保健体育　広瀬峻也　（非常勤6H）
- EAS　エバン・マンゴールド

継続
- 外国語　道端めぐみ　（常勤講師）
- 芸術（音楽）　岩本あづさ　（非常勤14H）
- 芸術（美術）　砂川清夏　（非常勤4H）
- 芸術（書道）　吉村春香　（非常勤4H）

転出
- 理科（化学）　高橋義人　（修猷館）
- 社会（倫政）　井上誠一郎　（筑紫中央）
- 家庭　矢ケ崎冨士子　（香住丘）
- 理科（生物）　川原恵子　（須恵）
- 保健体育　原雅宜　高48回（柏陵）
- 主任主事　坂本智恵子　（香椎）
- 主技能　佐伯美保子　（修猷館）
- 家庭　小山美穂　（修猷館）
- 理科（生物）　楢崎仁　高57回（須恵）
- 保健体育　牟田口享司　高33回（柏陵）
- 主任主事　荒巻麻衣子　（柏陵）
- 主技能　濱貴弘　（筑紫中央）

3 講師等

敬称略

RIX リックス株式会社
顧問　安井玄一郎（高12）
相談役　安井龍之助（高14）
取締役管理本部長　苅田透（高28）
〒812-8672
博多区山王1丁目15番15号
TEL（092）472－7311　FAX（092）474－3399
http://www.rix.co.jp

公認会計士・税理士
大松茂（高12）
東区箱松3丁目11番20号
Tel 621－5781

MOS（松﨑・奥・佐野・妹尾）合同法律事務所
代表弁護士　奥毅（高11回）
東京都中央区銀座6-8-7　交詢ビル8階
TEL 03（3571）6435㈹　FAX 03（3571）6436

・常任幹事会報告・

平成三十年度福中・福高同窓会常任幹事会が四月十九日、記念館三階にて開催されました。

藤和義会長より改めて百周年記念事業に関する募金のお礼があり、「新世紀の方向性を決める実りある会にしたいと思います。」と挨拶なさいました。

次に本年度に福岡高校の校長に着任された特別顧問の合屋伸一校長（高校32回）が、「百周年の翌年、新しい一歩を踏み出す年に卒業生の私が着任した意味を噛みしめ校長を努めてまいります。」と挨拶なさいました。

Ⅰ　一号議案から五号議案について各担当役員より説明があり、承認されました。

三号議案は、二月二十三日の臨時常任幹事会で事前に承認された役員人事案が改めて承認され、常任理事と副幹事長職を廃止し、三つの委員会（総務、広報・編集、育英支援）が新たに発足しました。

Ⅱ　二十九年度より本格的に稼働した福中・福高奨学財団について、鶴田育英支援委員長より詳細な報告がありました。

昨年一年間、西日本新聞に計四十三回に渡り掲載された福高讃歌の書籍化（予定）の報告が藤会長よりありました。現時点では詳細未定です。（同窓会総会・紅梅会・親睦ゴルフ会は、別頁参照）

二月二十三日の臨時常任幹事会で配布した、創立百周年パネルディスカッションの枚数希望が締切られました。

鶴岡参事兼事務長より、四月十日にふるさと納税の目標額を超過した二百三十六万二千七百五十円を規定に従って県に納税し、小川県知事に対応いただいた旨報告されました。また県より感謝状をいただいております。

Ⅲ　福岡高校より従来二十人程度の講師で行っている職業観セミナーを来年度より「規模を拡大し同窓会総会の前日に行う方向で検討したい」との申し出があり、高校45回以降で持ち回りの仕組みにしてほしいとの要請がありました。

常任幹事会後には、小林彰名誉会長の乾杯の音頭で懇親会が行われ、お開きでは恒例の万歳三唱の音頭をこの三月に卒業した高校70回の常任幹事・大屋尋鷹君が元気よく行ってくれました。

百周年記念行事を振り返り改めてお礼を述べる藤会長

福中・福高同窓会会則

第１章　総則

第１条　名称

本会は「福中・福高同窓会」と称し、事務局を福岡高等学校・福高記念館に置く。

第２条　目的

本会は会員相互の交誼を厚くし、母校福岡高等学校との緊密なる連絡を図り、その発展を助成することを目的とする。

第３条　事業

本会はその目的を達成するために下記の事業を行う。

1　会員名簿の発行
2　会報「朝ぼらけ」の発刊
3　福岡高等学校在校生の育英支援
4　その他本会の目的を達成するのに必要な事業

第4条　会員　（略）

第２章　役員及び機関

第５条　役員

1　本会に下記の役員を置く。

会　　長　１名　　名誉会長　若干名
特別顧問　１名　　副 会 長　若干名
顧　　問　若干名　　~~常任理事　若干名~~
相 談 役　若干名　　監　　査　４名以内
常任幹事　各回１名（嘯月会は３名）
幹 事 長　１名　　~~副幹事長　委員長~~　若干名
事務局長　１名　　~~会計　事務局次長~~　１名

2　会長、副会長、~~常任理事~~及び監査は、常任幹事会において通常会員の中から選出し、総会に報告する。常任幹事は各回から選出する。歴代会長は名誉会長とし、現職の福岡高等学校校長を特別顧問とする。

3　顧問、相談役、幹事長、~~副幹事長　委員長~~、事務局長及び~~会計　事務局次長~~は、通常会員から会長が委嘱する。

4　役員会は、第１項の役員（但し、常任幹事を除く）をもって構成する。

第６条　役員の任務

1　会長は本会を代表し、会務を総理するほか、総会・常任幹事会の議長となる。

2　副会長は会長を補佐し、会長に支障がある時はその職務を代行する。

~~3　常任理事は会長の委嘱により事業を担当する。~~

3　監査は本会の会計及び会務全般の監査に当たる。

4　幹事長は会長の意を受け、本会の常務の執行に当たり、~~副幹事長~~ 委員長は各委員会を総括すると共に、幹事長を補佐し又は代行する。

5　事務局長は本会の事務一切を処理する。

6　~~会計　事務局次長~~は、事務局長を補佐すると共に、本会の会計事務を処理する。

7　常任幹事は常任幹事会を構成し、その付託事項を処理する。

8　名誉会長、特別顧問、顧問及び相談役は本会の諮問に応じる。

第７条　役員の任期　（略）
第８条　支部　（略）
第９条　総会　（略）
第10条　常任幹事会

1　常任幹事会は各回１名ずつ及び嘯月会３名の常任幹事をもって構成し、会長、副会長、~~常任理事~~、監査の選出、予算、決算、規約改正その他必要な事項を審議決定する。但し、常任幹事が出席できないときは、常任幹事から委任を受けたその回の代行が出席する。

（略）

第11条　執行部会

1　執行部会は、会長、副会長、~~常任理事~~、幹事長、~~副幹事長~~、委員長、事務局長、~~会計~~ 事務局次長をもって構成し、本会の運営につき必要な事項を審議しその結果を役員会に報告する。

2　監査は、執行部会に出席し、必要があるときは意見を述べなければならない。

第12条　委員会

1　本会は、第３条の事業の執行のため、委員会を設置する。
2　委員会の委員は、通常会員から会長が委嘱する。
3　その他、委員会の組織・運営については、規約を別に定める。

第13条　事務局

1　本会の事務局は、事務局長、事務局次長及び事務局員をもって構成する。
2　事務局員は、通常会員から会長が委嘱する。

第３章　会計

第14条　会費　（略）
第15条　会計　（略）
第16条　会計年度　（略）
第17条　基本金特別会計　（略）
第18条　預かり金特別会計　（略）

第４章　女子部会

第19条　名称　（略）

第５章　嘯月会部会

第20条　名称　（略）

~~**第６章　会報**~~
~~第19条　名称及び発行~~
~~本会は毎年２回、会報「朝ぼらけ」を発行する。~~
~~第20条　編集委員会~~
~~1　本会に会報発行のための編集委員会を設置する。~~
~~2　委員会の組織・運営については規約を別に定める。~~

第６章　その他

第21条　特別委員会　（略）
第22条　慶弔規定　（略）
第23条　規約の改正　（略）
第24条　実施時期

本会則は平成8年9月4日から実施する。
昭和41年4月1日制定

詳しくはHPをご覧ください。

平成30年度　福中・福高同窓会役員

名誉会長　小林　彰　（中25回）
会長　藤　和義　（高16回）
副会長　林田　スマ（高18回）
〃　川原　正孝（高20回）
〃　岡部　章蔵（高22回）
〃　池田　方紀（嘯月会）
幹事長　堺　知行　（高27回）
委員長　総務委員会　安恒　寿人（高36回）
〃　広報委員会　大坪　知弘（高43回）
〃　育英支援委員会　鶴田　弘人（高43回）
事務局　事務局長　中富　加代子（高32回）
事務局次長　長田　慶子（高19回）
監　査　矢谷　学　（高22回）
〃　山田　重徳（高26回）
〃　石蔵　利正（高29回）

特別顧問　合屋　伸一（校長・高32回）
顧　問　松本　龍　（高22回）
〃　阿部　弘樹（高32回）
〃　井上　博行（高34回）
〃　田辺　一城（高51回）
相談役　大島　久江（紅梅会会長・高5回）
〃　光安　常喜（高12回）
〃　島田　隆士（東京同窓会会長・高12回）
〃　竹中　駿介（高16回）
〃　阿部憲之介（高24回）
〃　岡部　和也（関西同窓会会長・高28回）

平成30年度　福中・福高同窓会常任幹事会次第

1 開式の辞　進行（事務局長　岩熊昌毅）
2 会長挨拶　（会　長　藤　和義）
3 特別顧問挨拶　（校　長　合屋伸一）
4 議事
　①平成29年度会務報告　（幹事長　堺　知行）
　②平成29年度決算並びに監査報告　（会　計　福本正司）
　④平成30･31年度役員人事案　（会　長　藤　和義）
　⑤平成30年度会務予定　（幹事長　堺　知行）
　⑥平成30年度予算案　（会　計　福本正司）
5 報告事項及び連絡
　(1)同窓会行事関係
　　①福中･福高同窓会奨学財団　（監　事　鶴田弘人）
　　②平成30年度同窓会総会6月10日（高54回）　於:国際会議場
　　平成30年度（第50回）紅梅会総会11月25日（高54回）於:ソラリアホテル
　　③第41回ゴルフ大会9月21日（高49回）於:福岡カンツリー倶楽部和白コース
　　④『福高讃歌』出版について　（会　長　藤　和義）
　(2)創立百周年記念関係　（副校長　高之口勝幸）
　　①創立百周年パネルディスカッション6月9日10:30～　於:国際会議場
　　・チケットの配布について
　　②今後の日程について
　　・創立百周年記念資料室披露2019年5月予定（福高祭にて）
　　・創立百周年記念講堂竣工2019年9月予定（柿落とし音楽祭）
　　・創立百周年記念歌
　(3)福岡県へのふるさと納税の件　（参事事務長　鶴岡　始）
6 その他
　①2019年度6月「先輩に学ぶ」（仮題）ご協力のお願い
　　（事務局　中富加代子）
　②転出･転入職員紹介　（副校長　高之口勝幸）
7 閉式の辞　（事務局長　岩熊昌毅）

福中・福高同窓会
平成29年度収支報告書及び平成30年度予算書

収入の部　（単位:円）

区分	平成29年度 予算額	決算額	摘要	平成30年度 予算額
前年度繰越	456,031	456,031	28年度より繰越	833,578
入会金	6,372,000	6,480,450	@450×1,180名×12月	6,372,000
会費	1,760,000	1,760,000	高13～高55、嘯月会、@40,000×44	2,200,000
雑収入	969	40,013	預金利息等	422
本年度計	8,132,969	8,280,463		8,572,422
合計	8,589,000	8,736,494		9,406,000

支出の部

区分	平成29年度 予算額	決算額	摘要	平成30年度 予算額
福高援助金	2,860,000	2,860,000	学校運営費補助	2,860,000
事業費（1）	300,000	276,776	同窓会入会式等諸経費	300,000
事業費（2）	700,000	700,000	朝ぼらけ補助	700,000
事業費（3）	100,000	124,168	文化部表彰	100,000
総会費	700,000	700,000	総会・紅梅会補助	700,000
通信費	150,000	170,919	電話・電報・郵送料	150,000
渉外費	800,000	716,579	東京・関西他同窓会出席費・慶弔費	800,000
役員会費	700,000	368,000	常任幹事会会議費他	700,000
事務手当補助費	600,000	600,000	同窓会事務手当補助	360,000
基本金	0	0	会則による積立金	0
HP維持管理費	300,000	265,831	ホームページ維持管理費	300,000
100周年準備金	1,000,000	1,000,000	記念事業準備金	1,000,000
雑費	60,000	60,643	事務用品他	60,000
予備費	319,000	60,000		319,000
本年度計	8,589,000	7,902,916		8,349,000
次年度繰越	0	833,578		1,057,000
合計	8,589,000	8,736,494		9,406,000

特別会計　（単位:円）

基本金	前年度繰越	28,595,575
	平成29年度繰入	0
	預金利息	228
	平成30年度へ繰越	28,595,803
100周年準備金	前年度繰越	10,677,737
	平成29年度繰入	0
	解約	△ 10,677,737
	預金利息	0
	平成30年度へ繰越	0
110周年準備金	新規	1,000,000
	平成30年度へ繰越	1,000,000

会計監査報告

平成30年度の会計について
監査を行った結果を次のとおり報告します。

1　監査を行った諸帳簿類･･･金銭出納簿、預金通帳、収支諸票
2　収支決算の確認･････相違ないことを確認しました。
3　監査結果･････････正確適正であることを確認しました。

平成30年4月12日

監査　高19　野口　美由紀
監査　高26　山田　重徳
監査　高43　鶴田　弘人

募金委員会活動終了挨拶

川原正孝（高20回）

皆さまからのご理解・ご支援を賜りまして、おかげさまで福中・福高創立百周年記念事業募金活動も無事に終了することができました。まずは目標金額三億九千三百三十万円に対し、最終実績が四億三千二百十一万八千一円となりましたことをご報告いたします。目標額を大きくクリアすることができたのも、各学年の常任幹事さんと募金委員長さんの頑張りのおかげです。また、堺幹事長と矢谷募金推進委員会副委員長のおふたりには一番大変な役割を担っていただきました。誠にありがとうございました。心から御礼申し上げます。

昨年六月の福中・福高創立百周年記念事業には、本当に多くの福中・福高ＯＢの皆さまからお力添えをいただきました。中でも、大隅先生のノーベル賞受賞という大変喜ばしいニュースは大きなはずみになりました。そして新宮前会長、白石前副会長は、記念事業の三～四年前から着々と準備を進めてこられていらっしゃいました。財団の設立やふるさと納税による税控除はおふたりのご尽力によるものです。おふたりのご功労に改めて敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

百周年記念事業が終わったばかりですが、これからは未来ある福岡高校在学生に向けて、福中・福高同窓会奨学財団の活動が中心となります。引き続きご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

挨拶する川原委員長

寄附金卒業回別集計表

平成29年12月31日

卒業回	金額 学年目標額	実績 一般分	実績 財団分	実績 ふるさと	実績計
中14		1,031,170			1,031,170
中15		300,462			300,462
中20				50,000	50,000
中21		300,183		700,000	1,000,183
中22		270,108	50,000		320,108
中23		200,042	200,000		400,042
中24			105,000		105,000
中25			585,000	1,543,079	2,128,079
中26			300,000		300,000
中学計	10,000,000	2,101,965	1,240,000	2,293,079	5,635,044
高1	4,500,000	406,339	50,000	0	456,339
高2	4,500,000	1,945,659	2,720,000	1,800,000	6,465,659
高3	4,500,000	300,000	2,000,000	4,368,282	6,668,282
高4	5,000,000	500,000	1,510,000	3,059,000	5,069,000
高5	5,000,000	300,000	1,445,000	2,340,000	4,085,000
高6	5,000,000	300,000	290,000	4,890,000	5,480,000
高7	5,500,000	300,000	5,280,000	1,670,000	7,250,000
高8	5,500,000	300,000	3,665,000	5,045,000	9,010,000
高9	5,500,000	300,000	5,300,000	6,268,000	11,868,000
高10	5,500,000	300,000	3,120,000	3,840,000	7,260,000
高11	6,000,000	300,000	2,056,555	4,336,000	6,692,555
高12	6,000,000	300,000	2,270,000	4,883,000	7,453,000
高13	6,000,000	300,000	1,800,000	3,900,000	6,000,000
高14	6,000,000	300,000	1,335,000	7,405,000	9,040,000
高15	6,000,000	300,000	2,360,000	4,771,000	7,431,000
高16	6,000,000	4,300,000	5,115,000	3,900,000	13,315,000
高17	6,000,000	300,000	1,803,000	4,858,000	6,961,000
高18	6,000,000	300,000	3,145,000	6,640,000	10,085,000
高19	6,000,000	300,000	2,351,000	5,287,000	7,938,000
高20	6,500,000	300,000	4,053,000	7,608,500	11,961,500
高21	6,500,000	300,000	2,360,500	4,875,000	7,535,500
高22	6,500,000	300,000	3,180,000	5,301,000	8,781,000
高23	6,500,000	300,000	39,000	6,270,000	6,609,000
高24	6,500,000	300,000	805,000	5,580,000	6,685,000
高25	6,500,000	300,000	2,035,225	5,820,000	8,155,225
高26	6,500,000	300,000	1,783,000	5,607,000	7,690,000
高27	6,500,000	300,000	2,280,000	9,453,000	12,033,000
高28	6,500,000	300,000	2,653,900	5,250,700	8,204,600
高29	6,500,000	300,000	1,950,000	4,258,000	6,508,000
高30	6,500,000	300,000	1,468,000	5,790,000	7,558,000
高31	6,500,000	300,000	1,954,999	5,626,000	7,880,999
高32	6,500,000	300,000	2,180,000	7,235,000	9,715,000
高33	6,500,000	300,000	1,430,000	4,520,000	6,250,000

卒業回	金額 学年目標額	実績 一般分	実績 財団分	実績 ふるさと	実績計
高34	6,500,000	300,000	1,036,425	4,250,000	5,586,425
高35	6,500,000	300,000	1,967,850	4,272,150	6,540,000
高36	6,500,000	300,000	1,960,000	4,450,000	6,710,000
高37	6,500,000	300,000	2,082,222	4,320,000	6,702,222
高38	6,000,000	300,000	1,800,000	5,715,000	7,815,000
高39	6,000,000	300,000	1,410,213	4,289,787	6,000,000
高40	5,500,000	300,000	1,690,000	3,600,000	5,590,000
高41	5,500,000	300,000	1,651,000	3,702,002	5,653,002
高42	5,000,000	300,000	870,000	3,200,000	4,370,000
高43	5,000,000	300,000	1,520,000	3,200,000	5,020,000
高44	4,500,000	300,000	1,589,849	2,890,000	4,779,849
高45	4,500,000	300,000	1,350,000	2,880,000	4,530,000
高46	4,000,000	300,000	250,000	2,070,000	2,620,000
高47	4,000,000	300,000	1,350,000	2,350,000	4,000,000
高48	3,500,000	300,000	1,265,000	2,150,000	3,715,000
高49	3,500,000	300,000	1,050,000	2,150,000	3,500,000
高50	3,000,000	300,000	900,000	1,850,000	3,050,000
高51	3,000,000	300,000	900,000	1,800,000	3,000,000
高52	2,500,000		823,000	1,890,000	2,713,000
高53	2,500,000		1,000,000	1,680,000	2,680,000
高54	2,000,000		1,148,750	851,250	2,000,000
高55	2,000,000		480,000	85,000	565,000
高56	1,500,000		400,000	500,000	900,000
高57	1,500,000		500,000	1,000,000	1,500,000
高58	1,000,000		0	350,000	350,000
高59	1,000,000		0	155,000	155,000
高60	1,000,000		0	460,000	460,000
高61	800,000		0	300,000	300,000
高62	800,000		316,000	599,000	915,000
高63	200,000		60,000	240,000	300,000
高64					
高65					
高66					
高67					
高68					
高69					
高校計	301,300,000	21,251,998	105,158,488	229,703,671	356,114,157
嘯月会	5,000,000		40,000	3,746,000	3,786,000
企業	77,000,000		200,000	41,700,000	41,900,000
個人等		3,550,000	3,630,000	2,920,000	10,100,000
研修学園			13,582,800		13,582,800
福高職員		1,000,000			1,000,000
合計	393,300,000	27,903,963	123,851,288	280,362,750	432,118,001

退任のご挨拶

前校長　井上拓夫

この度、定年退職により校長を退任することとなりました。在任中は福中・福高同窓会の皆様方に一方ならぬご厚誼を賜り、お陰さまで校長の任を全うすることが出来ました。心から感謝申し上げます。

県下でも輝かしい伝統を誇る福岡高校の校長として、同窓会の皆様方から温かい励ましをいただきながら、過ごすことができた2年間でした。その中でも福岡高校の学校創立百周年記念式典等に校長として参画できたことは大変光栄なことであり、素晴らしい経験をさせていただき、人生の宝物として大切にしたいと思っております。大隅先生のノーベル賞受賞が花を添えた学校創立百周年の諸事業での福中・福高同窓会の団結力や母校を想う気持ちの強さ、高まりを目の当たりにし、福高の同窓生の素晴らしさを再認識したところです。

福岡高校は生徒諸君が誇りと自信を各自の心に刻み、本校のよき伝統をしっかり受け継いで前進し続けることと信じます。

先生方も大きな教育改革の時代に直面し、前例にとらわれず本校のあるべき姿を真摯に追求し、様々な困難を乗り越えて欲しいと考えています。どうか福中・福高同窓会におかれましては、今まで以上に物心両面からのご支援・ご協力をお願い申し上げます。最後に同窓会の皆様に重ねて感謝しお礼を申し上げますとともに、本校が福岡県を、そして日本を代表する伝統校として今後ますます充実発展し続けることをご祈念申し上げ、退任のご挨拶といたします。

着任のご挨拶

校長　合屋伸一（高32回）

この度の人事異動により、三月末で定年退職された井上拓夫校長先生の後任として、光陵高校より着任いたしました合屋でございます。

私は高校32回の卒業生で、縁あって母校の校長を務めさせていただくことになり、喜びとともに身の引き締まる思いで再び福高の門をくぐりました。

思い返すと、教職についた初めの頃、「母校の教壇に立っても恥ずかしくない教員になろう。」と思いながら、教材研究をとおして自らの授業を磨いていた日々がありました。

結局は、福高生に数学の授業をする機会には恵まれず、職場としての福高は今回が初めてとなります。

転勤が決まってから、多くの同級生が電話やメールで、「おめでとう」と自分のことのように喜び、祝ってくれました。

四月九日の入学式では、式辞の中で新入生に対し、「皆さんひとりひとりが持っている優れた能力や個性など、きらりと光る何かは、ひとつとして同じものはなく、それらは他者との交わりの中で磨かれ、逞しさやしなやかさを持った輝きを放ちはじめるものなのです。人としての魅力を伸ばしていく機会は、学校生活の中にたくさんあります。また、人との交わりは何ものにも代えがたく、人生を豊かにしてくれます。私自身も本校の卒業生であり、本校で出会い、卒業して四十年近い年月が過ぎた今でも続いている、さまざまな分野で活躍している友人たちとの交流は、私の人生を豊かなものにしてくれていると断言することができます。」という話をいたしました。

少子高齢化の進行など現在のわが国が抱える課題だけではなく、未知の課題が次々と押し寄せてくるという予測を背景に、高大接続改革などの教育改革が進んでいますが、何よりその中核にあるのは、主体的な学びによって培われる思考力・判断力・表現力です。

この主体性は、学習だけでなく学校行事や部活動・生徒会活動などをとおして福高生に脈々と受け継がれているものであり、本校の特色がさらに活かされることになると確信しています。

節目である百周年の次の年に、卒業生が校長として着任した意味を自ら噛み締め、中長期的な視野で、本校が未来へ向けた着実な一歩を踏み出せるよう尽力してまいりたいと考えています。

同窓会の皆様におかれましては、これまでと変わりないご支援とご協力のほどよろしくお願いいたします。

おわりに、福中・福高同窓会の益々の発展と会員各位のご活躍・ご健勝を祈念いたしまして、着任のご挨拶とさせていただきます。

オガタ眼科クリニック
院長
緒方譲二（高17）
中央区天神２丁目２－12
オガタ眼科ビル
Tel ７１６－２５８０

日進ビル株式会社（サンビル）
竹中駿介（高16回）
中央区天神４丁目１－18

“情報を生かす”ソリューション
サービスのプロフェッショナル
アオヤギ株式会社
取締役会長 青柳泰治（高16）
代表取締役社長 青柳泰一郎（高42）
中央区渡辺通2-9-31
Tel. 761-2431

帳票から高級美術印刷まで
(有)森田印刷所
代表取締役
森田　孝（高16）
中央区大手門2丁目1－21
Tel ７２１－５２２３

広告協賛をお願いします
同窓会事務局 迄
ご連絡下さい。
☎092-641-7258

筑紫薬匠
如水庵
森　恍次郎（高18回）
三角　俊一（高18回）
森　英俊（高44回）
佐藤　理子（高45回）
森　正俊（高46回）
株式会社 如水庵［本社］
古賀市青柳3476－17　TEL 092－940－0052
ホームページアドレス www.josuian.jp

弁護士
吉野　正（高17）
中央区大名２－４－30
西鉄赤坂ビル６階
Tel ７５１－６００１

博多石焼
大阪屋
西川　ともゑ（高17回）
福岡市博多区中洲５丁目３－16
TEL（２９１）６３３１

平成29年度

福中・福高同窓会入会式
第七十回 卒業証書授与式

3月3日(土)

平成三十年三月三日（土）、晴れわたる天候のもと、第70回卒業証書授与式が行われました。福岡高校で過ごした三年間で大きく成長を遂げた姿を来賓・保護者・先生・在校生に見せてくれました。前日の同窓会入会式で同窓生となった70回生の、今後の飛躍に期待しています。

同窓会入会式

平成三十年三月二日、卒業式の前日に恒例の福中・福高同窓会入会式が行われました。

はじめに、藤和義同窓会会長より歓迎のあいさつが述べられました。（以下、要約）

「百年間にこの学び舎を巣立っていった同窓生は約四万五千人。膨大な時間の流れと一人ひとりのドラマが、世間が持つ『福高』のイメージを形作っています。卒業後の人生においても『福高』という文字がついてまわり、良くも悪くも背負って生きていくことからは逃れられません。

また、自らが予想しなかったことがこの先の人生には待ち構えています。苦難ばかりではなく、努力よって素晴らしいことが起こる可能性がすべての人にあります。若いころは、好きな時に同窓会を頼り、後に少しだけ恩返しすれば良い。それが次の後輩の役に立つ。福中・福高同窓会とはそのような想いが連綿と受け継がれる組織でありたい。

昨年の百周年記念行事と隣で建設が進められている百周年記念講堂のために集まった四億三千三百万円を越える寄付は、『母校のため、後輩のためなら』という先輩たち一人ひとりの恩返しの結晶と言えます。

同窓会は皆さんの今後の人生を陰ながら応援しています。」

また特別顧問である井上拓夫校長からは、「二年生約二百名が十一月、修学旅行でシンガポールに行ったとき、『ここまで来てくれた後輩のためなら』と同窓の方々に快くご協力いただき、改めて同窓会の絆の強さを感じました。明日の卒業式で『福高生』という肩書きに区切りをつけ、それぞれの道を歩むことになりますが、いつの日か福高の同窓生で良かったという思いが生まれ、強い絆で結ばれると確信しています。」と述べられました。

最後に、常任幹事の委嘱を受けた大屋尋鷹君は、三年間充実した学校生活を送ることができたことに対して感謝の言葉を述べ、「卒業後は母校と社会に貢献できるよう、70回生一同努力します。」と宣言してくれました。

藤会長挨拶

学校長式辞

福岡県立福岡高等学校長　井上拓夫

千代原頭に吹き渡る風にも早春の気配満ちゆく、今日の佳き日に、県教育委員会をはじめ、多数のご来賓、保護者の皆様のご臨席のもと、福岡県立福岡高等学校第七十回卒業証書授与式を挙行できますことは、卒業生はもとより、本校教職員・生徒一同、誠に光栄であり、心から感謝申し上げます。

ただいま、四百一名の生徒の皆さんに、栄えある卒業証書を授与いたしました。卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。これまでの皆さんの努力と研鑽を心から讃えたいと思います。また、この日まで長きにわたって皆さんの勉学を支え励ましてこられた保護者の皆様方に対しても、ここに深く敬意を表します。

学校創立百周年という記念すべき年に学年テーマ「啐啄同時」のもと最上級生として、皆さんの卓越したリーダーシップとフォロワーシップによって、福高生が誇る団結力やひたむきさが一層輝き、福高祭や体育祭などの多彩な行事や日常の学びはもとより部活動なども大変充実したものとなり、本校の歴史に新たな足跡を残してくれたことを大変、誇りに思っています。

卒業生を温かく見守る井上校長

（中略）今日グローバル化や少子高齢化が急速に進展し、国内外に様々な問題が山積しています。社会の仕組みが大きく変容し、これまでの価値観が根本的に見直されつつあります。このような時代に生き、未知の時代を切り拓いていくためには、主体的に学び続ける力が重要となります。

（中略）「学ぶ」ということは、単に知識を得ることではありません。この変化の時代には過去の延長線上でものを考えたり、問題を解決するのは難しくなります。新たな状況を自らの頭で理解し、問題を解決する力が求められるとともに、多様性の中で、共感力を持ち人間力を向上させ、成長していくことが必要です。どうか生涯にわたって、学ぶ心を忘れず、絶えず知性を磨き、社会のために、力を尽くしてもらいたいと願っています。

（中略）私たち教職員一同は、これまで全力を傾注して指導にあたり、また、共に学んで参りました。前途有為な皆さんとともに三年間同じ学舎で過ごせたことに感謝しつつ、皆さんを送り出すことができます。それでは卒業生の皆さん、皆さんの洋々たる前途が健やかで幸多きことを心から祈念して式辞といたします。

平成三十年三月三日

学校長式辞

送辞

在校生代表　松崎 昇

寒く厳しい冬も過ぎ去り、暖かい日差しに春の訪れを感じる今日の良き日、晴れてこの福岡高校を巣立って行かれる先輩方、ご卒業おめでとうございます。（中略）

創立百周年という特別な年に、記念招待試合をはじめとして記念福高祭、体育祭などの行事を見事に創り上げられた先輩方の姿は、私たちにとって大変印象深く、尊敬の思いを抱くものでした。先輩方は、様々な学校行事を、百年の伝統を受け継ぎ次の百年を見据えて、創り上げようとされました。「百世不磨」のテーマのもとに行われた福高祭、私たちは先輩方の力を改めて実感しました。中でもクラス参加に見られた斬新なアイデアとクオリティの高さには先輩方の多様な才能が感じられ、同じくクラス発表を行った私たち2年生は、まさに圧倒される思いでした。

そして何よりも、先輩方の存在を一層大きく感じたのは、やはり九月の「瑞煌―魅せろ我らが百年」のテーマのもと行われた体育祭です。各グループの先頭に立ち、大きな声で的確に後輩をまとめる先輩方の姿に私たちは憧れ、自分もあの先輩のようになりたいと、多くの後輩が思いを強くしました。そのような華々しい舞台の裏で、先輩方は大変な努力をされていました。一学期の終わりの結団式から体育祭当日を迎えるまで、日々山積する課題に全力で取り組んでゆかれました。「至上最高」の体育祭を目指した先輩方は、その真剣さから時には仲間とぶつかり、涙を流すこともあったと聞いています。しかしその思いの強さは、私たち後輩にしっかりと伝わってきました。だからこそ、先輩方に必死でついてゆこうとしたのです。あの時の先輩方の姿を、私たちは決して忘れません。（中略）

伝統とは、先輩方の後ろ姿から、私たち後輩に自然と受け継がれるものなのだと思います。先輩方の姿は、私たち在校生の心に強く刻み込まれました。そして、私たちもこれから、そのような先輩方の姿に近づき、後輩の心に残るような上級生になりたいと思っています。そして、この福岡高校が、今以上に素晴らしい学校となるように、いっそう努力精進してまいります。（中略）

まだまだ、教わりたいこと、学ばなければならないことがたくさんあるような気がしてなりません。お世話になった先輩方との別れはつらいものですが、どうかこれからも私たちのために母校を温かい目で見守っていてください。よろしくお願いします。

最後に、卒業生の皆様方の今後ますますのご活躍をお祈りし、送辞とさせていただきます。先輩方、本当に有り難うございました。

平成三十年 三月三日

答辞

卒業生代表　福田 蓮

柔らかな春の兆しが感じられる今日のこの佳き日に、ご来賓の皆様、校長先生、並びに諸先生方の御臨席を賜り、私達七十回生が卒業の日を迎えることが出来ましたことを心より感謝申し上げます。

今から三年前、新品の制服に身を包み臨んだ入学式で、学年主任の藤丸先生が私たちにこうおっしゃいました。

「これからの高校生活、何もかも楽しくて楽しくて仕方ない。ということはありません。勿論、苦しいこともある…」

（中略）

必死に頑張ってきた三年間という月日が全て地続きとなって今日があります。百周年という記念すべき年の中で、その重圧に負けそうになることもありましたが、その中でしか得ることが出来ない経験もありました。今の私達なら、三年前に藤丸先生がおっしゃった言葉の意味が分かります。

「高校生活、何もかも楽しくて楽しくて仕方ないということはありません。勿論、苦しいこともある。だけど、心配はしていない。どんな状況であっても、必死に頑張れば成長できるものがこの三年間には詰まっている。」

その苦しさの中に、本当に大切なものがありました。

この先、様々な苦難が私達を待ち構えていることでしょう。しかしここで三年間を過ごした私達は、どんな土砂降りの中でも猛吹雪の中でも強くたくましく前に進んでいけるはずです。

後輩の皆さん、これまでついてきてくれてありがとうございました。皆さんは凄い力を持っています。福高の歴史を覆すほどの発想力や創造力が、これからどう開花していくか本当に楽しみです。

先生方、どんなときでも進む道を私達に決めさせ、どんなに歩みが遅くとも温かく見守ってくださったおかげで、最後の最後に急激な成長をみせることができました。

家族へ、これまでどんなに辛いときも私達を支えてくれました。迷惑もたくさんかけてきましたが、いつも私達を一番近くで見守ってくれて本当にありがとう。

今日で、級友とふざけあう教室とも、くだらない話に笑いあいながら帰る帰り道ともしばしお別れです。だけどもう二度と会えないという訳でありません。またいつかどこかで再び集まることが出来るはずです。そのときまで、また、いつか。

平成三十年 三月三日

パティオでの恒例の「送り出し」

VENTUNO
フコイダンシリーズ
株式会社ヴェントゥーノ
代表取締役
中溝公次（高16）
中央区大宮2丁目1−1
TEL 521−2290
http://www.ventuno.com

西日本綜合法律事務所
弁護士
林　桂一郎（高15）
中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル4F
Tel　771−6931

山野石材株式会社
代表取締役　山野時一（高12）
中野誉久（高50）
東区東浜2丁目6番51号
TEL 092-651-2229
FAX 092-641-0043
http://www.yamanostone.co.jp

大学別合格者数

国立大学

No.	大学名	平成30年3月 計	3年	過年度	29年 計
1	北海道大学	6	3	3	4
2	東北大学	2	2		1
3	筑波大学	2	1	1	6
4	千葉大学	2		2	
5	東京大学	7	4	3	2
6	東京学芸大学	4	3	1	
7	電気通信大学				1
8	東京外国語大学				1
9	東京工業大学	2	1	1	
10	お茶の水女子大学				2
11	一橋大学	2	1	1	1
12	横浜国立大学	3		3	4
13	新潟大学				1
14	名古屋大学				1
15	京都大学	5	4	1	9
16	大阪大学	10	4	6	8
17	大阪教育大学	1	1		1
18	神戸大学	3	2	1	3
19	鳥取大学				2
20	島根大学	1		1	1
21	広島大学	10	7	3	6
22	山口大学	6	3	3	4
23	福岡教育大学	14	13	1	6
24	九州大学	91	53	38	126
25	九州工業大学	24	15	9	24
26	佐賀大学	15	11	4	13
27	長崎大学	9	4	5	15
28	熊本大学	15	11	4	14
29	大分大学	1	1		4
30	宮崎大学	1		1	6
31	鹿児島大学	6	3	3	7
32	鹿屋体育大学				1
33	琉球大学	3	2	1	1
34	その他	9	7	2	
	合計	254	156	98	275

公立大学

No.	大学名	平成30年3月 計	3年	過年度	29年 計
1	横浜市立大学				1
2	名古屋市立大学				1
3	京都府立大学				1
4	大阪府立大学	1		1	1
5	神戸市外国語大学	1	1		3
6	北九州市立大学	5	3	2	5
7	九州歯科大学				2
8	福岡県立大学	1	1		2
9	福岡女子大学	15	14	1	14
10	長崎県立大学				1
11	熊本県立大学	2	1	1	1
12	その他	10	6	4	
	合計	35	26	9	32

平成30年入試では、センター試験が例年通り厳しい結果となったが、二次での逆転を目指し、第一志望を貫いての出願が目立った。東京大学では4名の生徒が現役で合格し、合計7名合格という実績を残すことができた。九州大学に関しては、大変厳しい結果となったが試験結果の開示結果をみると、ほんの数点で残念ながら不合格だった者もいた。彼らは高い志を維持し、努力を続けており、来春、必ず吉報を届けてくれるであろうと確信している。一方で、多くの生徒諸君がセンター試験の厳しい結果を逆転して第一志望の大学に合格している。その中でも前・後期とも第一志望を貫き、後期で合格を勝ち取った生徒が数名いたことは特に記しておきたい。

学年主任　藤丸 時央

私立大学

No.	大学名	平成30年3月 計	3年	過年度	29年 計
1	青山学院大学	5	2	3	5
2	慶應義塾大学	6	4	2	3
3	芝浦工業大学	1		1	4
4	上智大学	1	1		6
5	中央大学	14	1	13	9
6	東京女子大学	1		1	1
7	東京農業大学	6	3	3	5
8	東京理科大学	30	2	28	23
9	津田塾大学				7
10	法政大学	10	2	8	3
11	明治大学	20	5	15	15
12	立教大学	4	3	1	4
13	早稲田大学	19	10	9	4
14	同志社大学	29	2	27	40
15	立命館大学	57	17	40	76
16	関西大学	4	1	3	9
17	関西学院大学	11	3	8	21
18	産業医科大学	5	4	1	3
19	西南学院大学	170	130	40	150
20	福岡大学	106	57	49	93
21	その他	105	60	45	115
	合計	604	307	297	596

合格者総計

	平成30年3月 計	3年	過年度	29年 計
国立大学	254	156	98	275
公立大学	35	26	9	32
国公立大合計	289	182	107	307
私立大学	604	307	297	596
大学校	2	1	1	4
短期大学				2
各種学校	3	3		
公務員	1	1		
合計	899	494	405	909

医療法人 浜江堂（みんこうどう）
油山病院
会長 三野原和光(高8)
放射線室室長 進藤順二(高17)
介護老人保健施設 からざステーション
居宅介護支援事業所 ケアセンター のぞみ
訪問看護ステーション(精神・高齢者) あいりす
グループホーム(精神) サンライズ荘
〒814-0171 福岡市早良区野芥5丁目6番37号
Tel.092-871-2261

学校法人 麻生学園
九州情報大学
福岡教員養成所
山口短期大学
麻生学園小学校
理事長 麻生維美 (中25)
学園本部 〒811-1302 福岡市南区井尻二丁目三番一号
電話〇九二(五八一)四〇七五番
E-mail:aso@kiis.ac.jp

株式会社みどりや佛壇店
代表取締役会長 吉川礼蔵 (高3)
代表取締役社長 吉川和毅 (高38)
博多区上川端町11－286
Tel 291－3081(代)

有限会社サカイビル
取締役会長 堺 憲一 (中21)
代表取締役 堺 知行 (高27)
管理部長 堺 幸高 (高37)
東区三苫6丁目4－1
Tel 606－7844
Fax 606－3608

陽子の部屋
〒810-0801
福岡市博多中洲2丁目1-5
陽光ビル5F
TEL (092)271-2646
TEL・FAX (092)271-2664
丸山陽子 (高7)

(株)杉田写真館
杉田 守 (高5)
本店
博多区上川端14-19 Tel 291-0683(代)
事務所
博多区上川端1-18 Tel 291-8000(代)

34

福高同窓会女性のページです。

カット　故 冬至堅太郎(中11)
－紅梅会旗より－
題　字　乃美　吉江(高8)

高32回

母校 福高の思い出

岡原 あずさ（高32回）

福岡高校は私のあこがれの高校でした。入学の時に行われた説明会の中で、先生がおっしゃったことが、今でも私の心に強く残っています。「こうして進学できたのは、家族をはじめ周りの人々のおかげである。当たり前と思わず、感謝の気持ちを忘れないように。そして、勉学だけでなく、様々な事に励むように。」というものでした。この言葉のおかげで私は高校生活を気持ちよくスタートさせることができました。

高田先生米寿祝いの記念写真

高校生活は、文化祭や体育祭などの行事をはじめ、様々な事が生徒自身の手で企画運営できるよう、先生方が私たちを信頼し陰でしっかりと支えて下さっていることを感じました。振り返ると思い出は尽きませんが、入学してすぐに行われた応援歌練習では、応援団の先輩方の物凄い迫力に圧倒されたことを覚えています。厳しく教え込まれた応援歌は、お蔭様で今も口ずさむことができます。もう一つ、福高ならではの思い出は、「もうかり」です。先生が出張や年休で授業に空きができると、世話係が職員室や教官室を回り、先生方にお願いして時間割を変更してもらいました。お蔭で早く放課後を楽しむことができて得をした気分になりました。

現在、私たち32回生は、お正月の二日に学年の同窓会を開いており、毎回四十～五十人が集まり旧交を温めています。私はあまり参加できていないのですが、友人に声をかけてもらい、同級生の皆さんに会う機会があることを嬉しく思っています。昨年の夏は、三年時の担任の先生である高田先生の米寿を32回有志でお祝いし、沢山の同級生にお会いしました。在校時は、親しく話すことのなかった方々とも思い出話に花が咲き、新しいつながりができました。様々な分野で活躍されている同窓生からは、私の知らない話をたくさん聞くことができます。こうして、今でも恩師を囲み、楽しい時をすごすことができるのは、福高で出会ったすばらしい友のおかげです。

私が今でも、微力ながら活動させていただいている「ペシャワール会」や里親制度を知ったのも紅梅会出席がきっかけでした。昨年百周年をむかえた福岡高校での大隅教授のご講演など諸先輩方のご活躍は、私にとってもうれしいニュースです。

卒業して四十年近くになりますが、入学時に教えていただいた「感謝」を胸に、人とのつながりが広がっている気がします。

あこがれから始まった私の高校生活ですが、今、本当に、福高生でよかったと思います。

筆者が三年生のときのクラス写真

第49回 紅梅会総会

紅梅会総会を終えて

実行委員長　長冨 幸子（高53回）

平成二十九年十一月二十六日（日）、ソラリア西鉄ホテルにおきまして、第四十九回紅梅会総会を無事に開催することができました。当日は福岡ソフトバンクホークス優勝祝賀パレードと重なり、会場近辺の混雑や道路渋滞等が心配されましたが、約二百二十名に及ぶ同窓生、来賓の皆様にご来場いただきまして、盛況に会を執り行うことができました。

当番幹事、高校53回生を代表して、心より御礼申し上げます。

乾　杯

平成二十九年度の紅梅会総会のテーマは、「華～はな～」でした。母校創立百周年という記念すべき年の六月の同窓会総会では、「百花繚乱」をテーマに掲げ、積み重ねてきた歴史のひとつひとつが一斉に「花」が開く時間を、多くの皆様と過ごすことができました。六月の総会に続き紅梅会総会も、大輪の花を感じられるような「華」のある素敵な会にしたいという思いを込めてテーマを考えました。

母校創立百周年に加え、紅梅会は平成三十年度に五十回の節目の年となります。今年の紅梅会を、楽しい、華やかな思い出として残して欲しいという想いで、テーマの「華～はな～」にかけ、たくさんの花で飾られた『フォトブース&フォトプロップス』を高校53回生で作成しました。当日は、これらを使って楽しく笑顔で記念撮影をされる方々が多く見られました。乾杯の後、オルガン奏者・上野美由紀氏による生演奏が披露され、素敵な音色に会場は華やかな雰囲気に包まれました。

また、還暦・喜寿・傘寿の皆様に、事前にいただいたメッセージをご紹介したり、ご登壇いただいたりしてお祝いをさせていただきました。会の終盤、高校53回生で作成したオリジナルムービー「百花繚乱」を上映し、六月の総会を振り返りながら、来年五十回を迎える紅梅会へと続く内容をご覧いただいた後、紅梅会旗は高校54回生へと引き継がれました。

写真ブースでフォトプロップスを使って記念撮影

ご来場の皆様、また紅梅会執行部の方々のお力添えにより、終始お祝いムードの華やかな会となりました。紅梅会五十回に向け、大輪の華が咲くことを願い、今度は私たち高校53回生が後輩たちを支えていきたいと思います。

同窓会総会から紅梅会総会にかけ、一年以上にわたり、諸先輩方に叱咤激励をいただきながら私たち高校53回生も当番幹事の大役を何とか無事に終えることができました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。この同窓会活動で得た貴重な経験・ご縁を大切にしていきたいと強く感じております。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

当番幹事高53回生

福岡高校（19回）卒後50周年記念同窓会 卓話

校歌の詞について

平成29年9月7日
岡村　健（高19）
九州がんセンター名誉院長

今年の三月にエッセイ集「コーヒーを淹れる午後のひととき」を自費出版しました。これが契機となり福高卒業後五十周年記念同窓会で卓話をしました。その最後に校歌について、あまり知られていないと思われる情報を得て、同級生に公表しましたので、報告します。

エッセイの中で、筑紫丘高校の校歌が素晴らしいと絶賛しました。そのことを卓話で話す予定で準備していましたが、話の流れ上、福高の校歌に触れないわけにはゆきません。あらためて歌詞を読んでみました。すると、二番の歌詞の後半「あるじ忘れぬ紅梅の…」というところは菅原道真公の歌のことと思うが、果たして本当にそうか、という疑問が湧いてきました。

そこで、その証拠を求めて、母校に行き、校歌についての資料がないか尋ねました。事務の方（山口さん）が校歌のCDに入っている小パンフレットを見せてくれました。しかし、そのパンフレットには、作詞は川原三郎先生（国語・漢文）が草案を作られ、八波則吉教授（旧制五高）が朱を入れ、作曲は松園郷美福岡師範学校教諭との記載しかありませんでした。七十周年記念誌に、何か情報があるかもしれないということで、見せてもらいました。川原先生の草案の画像が載っていましたが、小さくて読めません。歌詞の内容についての情報はありませんでした。

図書館に資料があるかもしれないということで、翌日、出向きました。図書班主任の溝口先生が同席してくれました。先生はこの紅梅のことは菅原道真公のことだと聞いていると仰ったのでしたが、そのことを記述した資料などはないのではということでした。再度七十周年記念誌を一緒に見てもらいましたが、画像が小さくて詳しくは解りません。川原先生ご自身が何か記録を残されていないか、あるいは草案の原本はないだろうかと尋ねていたところ、同席していた事務の山口さんが席を外し、暫くして戻ってこられ、草案のコピーが金庫にありましたとそれを見せてくれました。そこには歌詞の下に（菅公）と書かれていました（図1）。ちょっとした発見、感動の瞬間でした。

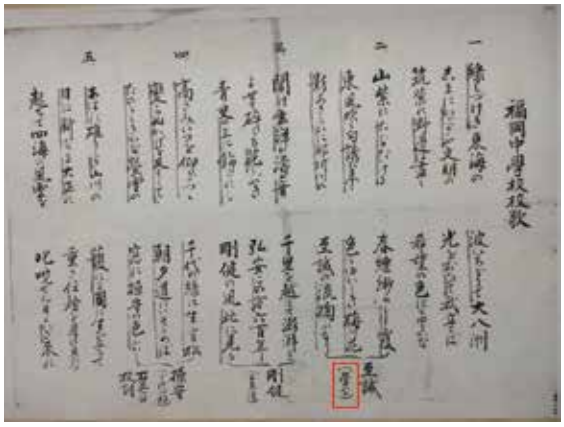


図1　校歌　川原先生の草案

その草案と校閲後の現在の歌詞を比較すると、一番は大きな変更はありませんが（図2）、二番の後半、草案では「東風吹く匂誘い来て　色もゆかしき梅の花　影あきらかに那珂川の　至誠の流掬（すく）うなり」が、校閲後「萬の花にさきがけて　あるじ忘れぬ紅梅の　清きかをりを放つ時　至誠の念は胸に満つ」（図3）となっています。朱を入れられた八波則吉教授の校閲の素晴らしさに、また感動。菅原道真公の歌「東風吹かば匂いおこせよ梅の花　あるじ無しとて　春な忘れそ」を思い描くと、詩的な音韻がより格調高くなっています。

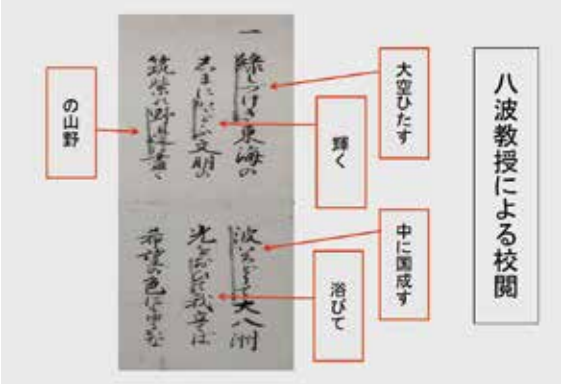


図2　校歌1番の校閲

図3　校歌2番の校閲

八波則吉教授は、福岡県宗像郡下西郷内殿（現在の福津市）出身で、旧制修猷館中学から東京帝国大学国文科へ進まれ、明治四十二～大正三年まで尋常小学校唱歌編纂委員を勤めたとされています。校閲をされた時は旧制五高の教授だったようです。現在、作詞は川原三郎先生だけとなっていますが、校閲の内容を考慮すると、個人的には、例えば「作詞　川原三郎・八波則吉」のように連名にしてほしいと思っています。卓話の参加者からも同じような意見を頂きました。

なお、作曲は松園郷美先生で、当時は福岡師範学校の教諭ですが、東京音楽学校（現在の東京芸大）出身の方です。卓話用の校歌の動画を作成していると、作詞、作曲の素晴らしさに新たな感動が湧いてきて、筑紫丘校歌に並ぶ、いいえ、寧ろ勝っているのではと実感した次第です。その後の懇親会では参加者みんなで誇りをもって声高々に校歌を歌いました。卒後五十周年という節目の良い思い出となりました。

社団法人 福岡県宅地建物取引業協会員
中市興産(株)
代表取締役
野田順一郎(高19)
事務所／博多区古門戸町３－２５
Tel ２７２－２５００㈹

リフォームのことならフチカにおまかせ!
株式会社フチカ
代表取締役 渕上　格（高19回）
博多区須崎町6-2
☎ 092(281)4448
E-mail:reform@fuchika.co.jp

株式会社 大洋サンソ
TAIYO SANSO
取締役会長
井上賢司（高19）
【本 社】福岡市中央区渡辺通１丁目8-32
tel.092-761-0531 fax.092-761-5511

上野光典法律事務所
弁護士 上野光典（高18）
弁護士 中谷啓二（高43）
中央区赤坂１－７－２３
赤坂弁護士ビル２階
Tel ７６１－０５０７

福高考古学部
ＯＢ同窓会

「伊都国大会」

長野 嘉久（高3回）

今年は福高百周年なので特別企画「奥様に感謝の気持ちを伝えるバスツアー」と銘打って、観光やショッピングで最近女性の間で人気急上昇中の糸島志摩地区で催行しました。石蔵酒造の石蔵利八郎君（高十三回）がバスと銘酒「如水」を提供、全面協力してくれたので、同伴の奥様方は無料で参加して戴きました。総勢二十八名、九時半ＪＲ博多駅前を出発。車中の歴考談義は長野（高三）が俗説、榊原（高十三回）・松本（高十四回）が真説でにぎやかに爆笑で反論。昼食は牡蠣小屋で取れたての牡蠣を焼きながら友と旧交を温めたり、新しい友情が生まれたり・・・。午後はケーキ工房やハム工房やメンタイ工房などを食べまくって見学、「伊都菜彩」で奥様方はオミヤゲを買い込んで大満足で、事故もなく定刻十六時半博多駅解散。

奥様方に大変喜ばれ、来年も同伴旅行をと要望があり、「感謝の会」は大成功でした。

今回は森先生の長男森修一夫妻が参加されたので、森先生の思い出話が沢山出来たのは幸せなことでした。又百周年記念誌を読まれた皆さんとの新しい交流から、今回多数の参加者がありました。誠に喜ばしく思います。

参加者
平成二十九年十一月十七日
（高3回）中島政憲・長野嘉久・佐渡敏彦。（4回）鶴岡喬昭。（6回）福山誠・奥様・松井恒雄。（7回）森修一・奥様。（9回）高杉重行・加藤昌隆。（10回）上田良弘（13回征子）。（12回）図師顕輔（13回）石蔵利八郎・奥様・榊原秀夫・吉原新一・奥様。（14回）嶋野一晴・奥様。武重雅彦・松本肇・奥様。（18回）貞包治夫・柴田光博。（20回）山下孝義・奥様。

音楽を通じて深める福高生の絆

When I'm 64 !

清成 友晴（高21回）

一昨年はビートルズ来日五十周年。私たち21回生が福岡高校に入学した年ですので、入学後五十年を経過したことになります。そういう時代で育ったのか、同級生に音楽好きが多いのは感じていました。

四年半ほど前に、関東在住の同級生とライブへ行く機会がありました。「定年後の仕事もなくなりそうだし、これからなにやる～？」そんな話題から、「高校文化祭にバンドで出ていたけど、またやれるかな～？」。

とりあえずスティックだけは買った湯川君。友人からベースがもらえそうだと宮部君。息子のギターがあると、元メンバーで福岡在住坂井君。高校時代にフォークをやっていた谷口君と藤君が卒業後も活動していたと聞き、勧誘。

オヤジだけでは、と福岡在住の高橋さん、吉住さん、長尾さんなど時々同窓会で会うメンバーを頼りに声をかけ練習開始。

八ヶ月後に幹事に提案され学年同窓会で初披露。その後も関東と福岡で年に四回ほどのライブを行っています。メンバーも三十名近くの大所帯になりました。

関東と福岡にメンバーが分散している私たちの活動はネットが頼り。楽器担当が多い関東チームが動画を送り、それを福岡にいるボーカルや他の楽器メンバーに合わせてもらいます。

そして選曲も特徴の一つ。おやじバンドの定番はもとより、シャンソンからジャズ、フォーク等なんでもあり。いまや百十曲オーバーとなり、ボケる暇もありません。

私たちのバンドの名前は福高時代のエレキバンド（CannonsとSonics）の頭文字と、そのRenewal、六十四歳で結成なので、【CSR64】としました。

テーマソングは「When I' m 64」。そんな先の事など見当もつかなかった時代に聞いたこの曲をみんなで歌ってライブは始まります。

ライブ本番に向け東京と福岡で練習を積み重ね、そしてライブのラストソングでは感動と共に充実感が。「これは高校体育祭で全力を出し切って最後に歌う応援歌に通じるものあるね」、とメンバーの声。

練習の合間には昨日の事のように当時の話題で盛り上がる。

古希目前の私たちに与えられたこの貴重な時間をこれからも大事にして行きたいと思っています。

さらに世代を超えてこの輪が拡がれば・・・と思う昨今です。

高校二年次予餞会
（福岡市民会館）

高校三年次文化祭
（本館講堂）より

不動産

MOTHER HOME since1992
マザーホーム(株)
代表取締役
古川 とし子(高22)
☎682－0100
福岡市東区千早5-2-25
マテーモ千早2F
http://www.haha.co.jp

福高隣りの印刷所
三栄印刷株式会社
SANEI PRINTING Co.,Ltd.
代表取締役 光枝 久美子（高22回）
専務取締役 矢谷 学（高22回）
TEL 092-631-3336

キム デンタル クリニック
D.KIM'S DENTAL CLINIC
金（キム） 道（ドゥ） 栄（ヨング）（高20）
東大阪市稲田新町2-2-29 第2木村コーポ
Tel 06－744－1114

明太子をつくってよかった。
博多中洲 ふくや
中洲本店 〒810-8629 福岡市博多区中洲2丁目6-10
お電話 フリーダイヤル 0120-86-2981
ハロー ふくや一番
受付時間／9:00～18:00
ホームページ 検索サイトに“ふくや”と入力
ふくや 検索 www.fukuya.com

新弓道場「松風館」落成式

弓道部 顧問　田鍋 稔（高31回）

平成三十年二月三日（土）大安吉日午前十時、福中・福高創立百周年事業の一環として建設された新弓道場の落成式が執り行われた。この日の最高気温は三℃。寒い中にもかかわらず、同窓会会長や同窓会役員の方々をはじめ多くの来賓・本校弓道部OB・OGの方々を迎え、櫛田神社の神官による祝詞が奏上され新弓道場の安全が祈願された。道場名は「松風館」と命名され、本校書道部二年生（現三年生）の栗原瑞樹さんの書による額が、同窓会会長から本校校長へと手渡され、これにより正式に同窓会より本校へ道場が引き渡された。井上校長（当時）、藤同窓会会長、弓道部顧問、弓道部主将のあいさつの後、本校弓道部外部指導者の教士八段・永吉加代子先生による矢渡し、生徒代表として男子主将の高瀬潤一君と女子主将の志賀美希さんによる祝射が行われた。

福岡県の県立学校としてはおそらく最大であろうと思われる広さと、床に檜、壁には杉の木をふんだんに使った立派な射場で練習できる喜びを部員たちは感じながら現在練習している。高瀬主将は「このような立派な道場は夢みたいだ。これで強くならなければ申し訳ない。必ず九州大会・全国大会を勝ち取ります。」と、力強く語った。

午後からは、ライバル校の修猷館高校弓道部との招待試合が行われ、新弓道場の門出を祝った。

オックスブリッジ研修

「世界を知る」という経験

田中 星羽（高66回）

オックスブリッジ研修の一期生として私がイギリスに行ったのはもう六年も前のことですが、そこで過ごした濃密な二週間の出来事は今でも鮮明に思い出されます。現地の学生との交流、有名な歴史ある建物やハリーポッターのロケ地の観光、バースでのホームステイ、英語レッスン…。どれをとっても刺激的で良い思い出です。その中で、現地において強く実感したことが二つあります。

一つは、イギリスという国家やオックスフォード・ケンブリッジ大学が築いてきた歴史の長さです。昔からの建造物や街並みが残されている地域が多く、それらが歩んできた歴史を肌で感じました。美しい宮殿や厳かな寺院、博物館の著名な展示物など、すべてに目を奪われました。両大学においては、数多くの偉大な先人がここで学び、輝かしい功績を残してきたという伝統や誇りにあふれているのが感じられました。交流したオックスフォード大学の学生からも、学びに対する強い意欲がひしひしと伝わってきて身の引き締まる思いがしたものです。

もう一つは、日本の文化について私たちはもっと知るべきだということです。この研修では、イギリスと日本の文化の違いに触れて感動したり戸惑ったりすることが多く、その度に両国それぞれの文化の素晴らしさを実感しました。日本には日本の良さがあるということも再認識できました。しかし、現地の学生との交流の中で日本の文化について質問された際に答えられないことがあり、自分の国のことなのに実はよく理解していなかったのだと気づかされました。

これらの経験から、改めて日本という国を見つめ直したいと思うようになりました。

私にとってこの研修は、世界の広さを知り、日本の奥深さを再確認した、非常に有意義なものでした。私は現在九州大学で医学を志していますが、医学において世界に目を向けることは必要不可欠であると私は思います。目の前の患者さんを助けるために世界中の医学者から情報を得て有効な治療法を考えたり、自らの研究を発信することで世界のどこかで命が救われたりと、世界との関わりで医学は進歩していきます。オックスブリッジ研修で得た経験は今の自分のモチベーションにつながっています。今後も福高生の皆さんがこの研修を通して何か自分にとってプラスになるものを持ち帰ってきてほしいと思います。

西戸崎興産株式会社（サイトザキコウサン）
上下水道用濾材製造販売
日本水道協会（JWWA）認定工場
専務取締役
永田　誠（高24回）
本社　〒811-0322
本社事業所　福岡県福岡市東区大岳2丁目1番1号
TEL.092-603-0415(代)
FAX.092-603-2431

河野産業株式会社
代表取締役社長
河野武司（高24）
東区松田1丁目12－41
Tel　611－5647
http://www.kawano-ind.co.jp

(株)旭工務店
吉弘直彦（高23）
因幡克昭（高25）
本社／博多区博多駅南5丁目10-13
Tel　431－4131

公認会計士・税理士
上妻克彦（高22）
東区馬出1－9－6
Tel 641－5386
自宅・東区香椎台1－3－4
Tel 682－5600

みらい法律事務所
弁護士
大坪知弘（高43回）
〒810-0023 福岡市中央区警固1丁目12番11号
アーバンスクエア警固6階
TEL 092(781)4148　FAX 092(715)5859
otsubo@mirai-law.com

社会福祉法人 みつる会
城浜保育園
理事長・園長
増本律秀（高37回）
〒813-0045 福岡市東区城浜団地8-4
TEL 092-661-0631 FAX 092-661-0638

いつも人が発想の原点。
株式会社 松本組
代表取締役社長　松本　優三（高28回）
高木　和浩（高34回）
[本社]〒812-0054 福岡市東区馬出1丁目1番19号
TEL.092-651-1031(代)

学校法人 精華学園
精華女子短期大学
精華女子高等学校
吉田幸滋（高26）
博多区南八幡町2丁目12-1
Tel　591－6331
Fax　592－3591